

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 31 日(2023.5.31)

【公開番号】特開 2023-29482(P2023-29482A)
【公開日】令和 5 年 3 月 3 日(2023.3.3)
【年通号数】公開公報(特許)2023-041
【出願番号】特願 2022-210331(P2022-210331)
【国際特許分類】
 G 0 2 B 5/30(2006.01)
【F I】
 G 0 2 B 5/30

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 5 月 23 日(2023.5.23)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

透明基材、光配向層、及び偏光層がこの順で設けられた、フィルム状且つ長尺状である偏光素子であって、

該偏光層が、2 種以上の重合性スメクチック液晶化合物の重合物と、レベリング剤と、二色性色素とを含有し、

前記偏光層の厚みが 0.5 ~ 3 μ m であり、

ヘイズ値が 3 % 以下、かつ二色比が 2.5 以上である、偏光素子。

【請求項 2】

位相差フィルム、光配向層、及び偏光層がこの順で設けられた、フィルム状且つ長尺状である円偏光板であって、

該偏光層が、2 種以上の重合性スメクチック液晶化合物の重合物と、レベリング剤と、二色性色素とを含有し、

前記偏光層の厚みが 0.5 ~ 3 μ m であり、

ヘイズ値が 3 % 以下、かつ二色比が 2.5 以上である、円偏光板。

【請求項 3】

波長 550 nm の光で測定した楕円率の値が 80 % 以上であり、

前記位相差フィルムが、波長 550 nm の光で測定した正面リタデーションの値が 100 ~ 150 nm の範囲のフィルムである、請求項 2 記載の円偏光板。

40